

城南中育友会

願い込めた オレンジリボン

児童虐待防止月間控え作製

新宮市立城南中学校育友会人権部会(野田智子部長)は23日夜、11月の児童虐待防止推進月間に合わせオレンジリボンを作製した。

この取り組みは、今年で5年目。生徒が児童虐待防止に関して学ぶ機会として、また、子どもが趣旨を理解して毎日を楽しく過ごし、大人になった時に子どもを大切にすることのできる人になれる



願いを込めて丁寧に作る

を完成させた。

はじめに、森浦展行教諭が「オレンジリボンとは、アウェアネスリボンの一種で、2004年の栃木県小山市で起きた児童虐待の事件以降、根絶運動は年を増すごとに拡大している」と説明した。

参加者は、リボンを斜めに10センチほどの長さに切り、輪の交差するところに少量の接着剤を付け、丁寧に安全ピンで止めた。オレンジリボンは、11月の1か月間、生徒らが制服に着ける予定。

野田部長は、「人権と聞くと難しく感じるが、大人も子どもも向き合い、活動を通じて、虐待が減ることを願っている」と話した。

(香川真夕)



オレンジリボンと記念撮影

仮装ウオークなど多彩に

26日 仲之町商店街で催し

新宮市の仲之町商店街で26日(土)午後3時から

8時まで、「仲之町 Halloween 2019」が行われる。ライブやダンス、ハロウィーン

バスの曲を独唱。1人ず

9」が行われる。ライブやダンス、ハロウィーン